令和6年度事業報告

1 会 議

(1) 総会

令和6年6月25日(火) JA福島ビル8階 804会議室において開催し、議案第1号から第8号まで可決・承認された。

議案第1号 令和5年度事業報告の承認について

議案第2号 令和5年度収支決算報告及び監査報告について

議案第3号 令和6年度事業計画及び収支予算案について

議案第4号 令和6年度借入金の借入最高限度額について

議案第5号 病害虫発生緊急支援積立金の一部を一般正味財産への振り替えることについて

議案第6号 令和6年度正・賛助会費の賦課及び納入時期について

議案第7号 役員補充について

議案第8号 顧問及び幹事に関する名簿の作成に関すること

(2) 理事会

〔第1回〕令和6年6月3日(月)書面により開催

議案第1号 令和6年度 第11回総会への提出議案について

議案第2号 令和6年度 第11回総会にて報告する事項について

(報告事項1) 指定正味財産の活用について

(報告事項2) 電子帳簿保存法の改正に伴う事務処理規程(案)の作成について

理事全員の同意と監事2名から異議のない意思表示を得て議事録を作成した。

議案は総会に諮った議案第1号から第8号に同じ。

〔第2回〕令和7年3月27日(木)書面により開催

議案第1号 令和6年度事業報告(中間報告)の承認について

議案第2号 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

議案第3号 令和7年度の総会に向けた今後のスケジュールについて

以上、3議案について理事に諮り、同意を得るとともに監事2名に確認を受け議事録を作成した。

(3) 幹事会

〔第1回〕令和6年5月21日(火)に JA 福島ビル8階803会議室で「令和6年度第1回幹事会」を開催した。協議内容は下記のとおり。

1) 令和6年度試験研究について

2) 令和6年度総会の開催について

ア 令和5年度事業報告及び収支決算報告(案)について

イ 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

ウ その他の理事会及び総会に諮る議案について

3) その他

〔第2回〕令和7年3月24日(月)に JA 福島ビル8階804会議室で「令和6年度第2回幹事会」を開催した。協議内容は下記のとおり。

- 1) 令和7年度試験研究について
- 2) 令和7年度総会の開催について
 - ア 令和6年度事業報告及び収支決算報告(案)について
 - イ 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 - ウ その他の理事会及び総会に諮る議案について
- 3) その他

2 会 員 (令和6年4月1日現在)

正 会 員 6 会 員
賛助会員 27 会 員

3 植物防疫推進事業

(1) 安全な農作物生産の推進と効率的病害虫防除の実践

効率的な病害虫防除による農作物の安定生産と、健康な食生活を支える安全な農作物の供給や自然環境と共生する農業・農村の形成を目的とした環境保全型農業推進のため、県及び関係団体と協力しながら諸活動を推進するとともに、令和4年7月1日に施行された「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律『みどりの食料システム戦略』」および令和5年4月1日に施行された植物防疫法の一部改正を意識しつつ本事業を推進した。なお、これらを踏まえ当協会に対する支援及び講演等の依頼や要望に積極的に対応した。

また、突発的、特異な、あるいは大規模な病害虫防除対策が必要な事態が生じた場合に備え、公益目的事業会計において事業準備積立資産（突発的病害虫発生への緊急対応資金の確保）として基金の積み立て(20万円)を引き続き継続して行った。

(2) 農薬の適正使用推進及び農薬残留対策の推進

改正農薬取締法の趣旨に基づき農薬の適正使用を推進するため啓発・研修活動に積極的に関わった。令和6年度における「福島県農薬管理指導士」および「福島県農薬適正使用アドバイザー」の認定運營業務により農薬管理指導士82名（うち新規3名）、農薬適正使用アドバイザー249名（うち新規42名）、両認定者は内数で21名）の新規・更新認定業務に関わった。

(3) 重要（特殊）病害虫の防除推進

農作物の重要病害虫について、その防除方法や調査等に関し積極的に推進するとともに難防除病害虫や新たに県内で発生が確認された病害虫および侵入病害虫については、病害虫の発生生態、防除方法に関する情報の広報を積極的に対応した。とくに令和6年には本県では今のところ発生未確認だが「クビアカツヤカミキリ」のポスターを600枚製作し、夏休み前に約480校の県内の小学校に配布するなど県民への情報提供の機会を創出した。また、その他、病害虫防除への啓発活動へ臨機応変に対応した。

(4) 有害動植物発生予察事業の推進

農作物病害虫発生予察事業の推進を図るため、性フェロモン製剤の実費斡旋を行った。なお、本県産農産物の輸出推進については全国植物検疫協会が農林水産省か

ら受託している「輸出先国の規制に対応するためのサポート体制整備委託事業」の専門家としてサポート員の委嘱を受け、本県産農産物輸出関係事業へ情報提供した。

(5) 病虫害防除員の育成・支援

本県の発生予察業務に貢献している病虫害防除員に対し県病虫害防除指針120部を無償提供するなど、有用な情報や資料の提供を通じて、その活動を積極的に支援した。

(6) 植物防疫講演会の開催

福島県病虫害防除所との共催により、令和5年度より再開した「植物防疫公開セミナー」について本年度は2月18日に農業総合センター多目的ホールを会場に①「地球温暖化による害虫発生の影響と対策」(明治大学農学部教授 糸山 享 氏)の演題と②「令和6年に福島県で問題となった病虫害の発生について」(福島県農業総合センター職員)の6課題の話題提供により開催した。また、本年度はサテライト会場も設置し、農業関係機関、農業団体及び県内農業生産者を主な対象として2会場合計で約120名の参加者があった。

(7) 広報活動の実践及び印刷物の発行、図書 の 斡 旋

ア 本県農業振興のため植物防疫体制の整備や有害鳥獣対策等に対し支援を継続する。また、当協会のホームページを有効に活用し、植物防疫関連の情報を発信し続けた。

イ 当協会のホームページを利用し、一般社団法人日本植物防疫協会の植物防疫関係図書と全国農村教育協会の図書販売の斡旋を行い、農業技術と植物防疫に係る技術情報の広報と伝達の多様化に努める。

ウ 「ふくしまの農作物病虫害ガイドブック」の3部作を300部印刷し、福島県農林水産部の担当普及員及び研究職員、当協会の正会員・賛助会員、農学系大学の研究室及び他県研究機関等へ配布し、一部JAへ頒布した。

(8) 関係機関・団体との協調

ア 植物防疫行政に対する協力と植物防疫事業の発展を図るため、関係機関・団体との連携、協調を密にする。

イ 植物防疫関連研究機関・団体及び学会等の事業に協力する。

(9) 農作物病虫害等画像ライブラリー事業の継続

当協会が保有する植物病虫害画像データを分野ごとに集積、保存、検索を主な柱とした取り組みを継続した。

また、(株)NTTデータCCSと日本農薬(株)が共同開発し、無料で公開しているAIを利用したスマートフォン用アプリである「レイミーのAI病虫害雑草診断」には大量(約4000件)の果樹病虫害の画像データ集積に協力し、安定した診断を可能とするために貢献した。

4 研究調査事業

研究調査事業により得られた各種有益な情報は、平成29年度以降の試験成績を非公開データもあるためホームページでの公表を控えているが、今後、順次、支障が無い課題から当協会ホームページを活用して公表する。

(1) 農薬の試験、調査、研究

マイナー作物を含む農作物に対する農薬の薬効、薬害、作物残留などに関する委託試験を実施した。

表 令和6年度の開発未登録農薬の実用性試験 (場所別・品目別・項目別)

年度	受託場所 品目	農業総合セ				果樹研	会津研				浜研				県植防					※		合計	合計 (※含まず)
		水稲	畑作	野菜	花き	果樹	水稲	畑作	野菜	果樹	水稲	畑作	野菜	花き	水稲	畑作	野菜	果樹	花き	水稲	畑作		
6 (2024)	殺虫剤	5	0	10	0	11	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	4	0	0	0	34	34
	殺菌剤	16	0	12	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	42
	除草剤	1	1	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	9	7
	植物生長調節剤	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	GLP作残試料調整	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	20	0	0	0	30	30
	非GLP他作残試料調整	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	5	5
	薬害等(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	無人ヘリ防除	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	22	1	23	1	25	2	0	0	3	3	0	2	0	0	4	9	26	0	2	0	123	121

注1 「葉たばこ」等の特用作物は畑作の品目とした。

注2 同じ薬剤の2～3濃度試験は1件とし、農薬以外の新資材試験は含まない。

注3 ※ 技術確認ほ(日植調「技術展示ほ試験」)受託先は普及部・普及所(1件2か所実施)

(2) 肥料農薬試験事業

a 肥料農薬等委託試験

水稲6か所(前年度10か所)

野菜3か所(前年度2か所)

果樹12か所(前年度10か所)

b ナシヒメコンを追加設置したニホンナシにおけるナシヒメシンクイに対する防除効果の検討

果樹1か所(前年度1か所)

(3) 技術確認ほ事業にかかる現地実証試験

水稲除草剤 2剤各2か所

(4) 病虫害防除指針採用希望農薬のとりまとめ

県病虫害防除指針に採用を希望する農薬について、メーカー及び(公財)日本植物調節剤研究協会から情報のとりまとめを令和6年8月に行い、県に具申した。

5 令和7年(2025年)版病虫害防除指針の印刷配布予定

農作物病虫害の効率的防除、雑草防除並びに農薬安全使用の徹底を図るため、県の作成する病虫害防除指針の著作権使用許可を得て防除指針を1,650部を印刷・発行し、予約者に実費で頒布した。

6 その他会議、研究会などへの出席、参加

年・月・日	会議・研究会等の名称	開催場所	出席者				
			尾形	佐々木	平子	草野	事務員
2024年							
4月15日	令和6年度農業技術確認ほ及び福島県農作物病害虫防除指針採用判定ほ試験設計会議	郡山市 農業総合センター	○	○	○	○	渡部
4月18・19日	令和6年度北海道・東北地区植物防疫協会事務局会議	岩手県一関市	○				渡部
4月19日	令和6年度第1回病害虫発生予察情報会議	郡山市 農業総合センター			○	○	
4月25日	(公社)福島県植物防疫協会賛助会員(春期)情報交換会		○	○	○	○	渡部
4月26日	損害評価会水稲共済部会	リモート会議			○		
5月10日	令和6年度生産資材安全確保対策委託事業第1回事業推進検討会(リモート)	リモート会議		○			
5月17日	福島県農林水産航空事業推進協議会監査・理事会	福島市 ユニックスビル	○				
5月21日	令和6年度公益社団法人福島県植物防疫協会 幹事会	福島市 JA福島ビル	○	○	○	○	渡部 安達
5月23日	県植防監査	福島市 JA福島ビル	○				渡部
5月22日	農薬適正使用・有害鳥獣被害対策会議	郡山市 農業総合センター	○				
5月24日	令和6年度第2回病害虫発生予察情報会議	郡山市 農業総合センター	○			○	
5月31日	農林水産航空事業推進協議会総会	福島市 ユニックスビル	○				
6月6日	令和6年度「くにみ農業ビジネス訓練所」短期研修 講師	国見町 訓練所			○		
6月12日	果樹情報会議	福島市 果樹研究所	○	○			
6月14日	一般社団法人日本植物防疫協会総会	東京都	○				
6月21日	令和6年度第3回病害虫発生予察情報会議	郡山市 農業総合センター	○		○		
6月25日	第11回(公社)福島県植物防疫協会総会	福島市 JA福島ビル	○	○	○	○	渡部 安達
6月28日	NOSAI果樹共済見回り調査	福島市他		○			
7月3日	GLP研修(EQ003及びEQ080の改訂内容について)				○		
7月8日	福島県農薬危害防止講習会(第1回)	郡山市 農業総合センター			○	○	安達
7月9日	果樹情報会議	福島市 果樹研究所	○				
7月10日	福島県農薬危害防止講習会(第2回)	郡山市 ハイテクプラザ			○	○	安達
7月12日	一般社団法人日本植物防疫協会FQA研修	オンライン	○	○	○		渡部
7月19日	Nosai果樹共済見回り調査	白河市		○			
7月26日	令和6年度第5回病害虫発生予察情報会議	郡山市 農業総合センター			○	○	
7月30日	(公社)福島県植物防疫協会賛助会員(夏期)情報交換会	福島市	○	○	○	○	渡部 安達
7月31日	令和6年度「くにみ農業ビジネス訓練所」短期研修 講師	国見町 訓練所			○		
8月7日	Nosai果樹共済見回り調査	福島市・伊達市		○			
8月23日	Nosai果樹共済見回り調査	白河市・須賀川市		○			
8月26日	予察情報会議	福島市 果樹研究所	○				
9月5日	果樹情報会議	福島市 果樹研究所	○				
9月13日	NOSAI福島 損害評価会麦共済部会	リモート会議			○		
9月18日	日本植物防疫シンポジウム「農業現場が求める病害虫防除の情報とは何か」	東京都	○			○	
10月2日	令和6年度「くにみ農業ビジネス訓練所」短期研修 講師	国見町 訓練所			○		
10月15日	令和6年度病害虫防除指針採用判定ほ試験成績及び植物防疫検討会	郡山市 農業総合センター	○	○	○		渡部
10月15日	福島県農業総合センター短期大学校 作物保護講義	矢吹町				○	
10月24日	令和6年度自衛消防隊員研修会	福島市 JA福島ビル					渡部 安達
10月30日	福島県農業総合センター短期大学校 作物保護講義	矢吹町				○	
11月5日	福島県農業総合センター短期大学校 作物保護講義	矢吹町				○	
11月12日	福島県農業総合センター短期大学校 作物保護講義	矢吹町				○	
11月19日	福島県農業総合センター短期大学校 作物保護講義	矢吹町				○	
11月19日	令和6年度農薬管理指導士及び農薬適正使用アドバイザー研修会	三春町 コミュタン福島			○		安達
11月20日	令和6年度農薬管理指導士及び農薬適正使用アドバイザー研修会	郡山市 農業総合センター			○	○	安達
11月26日	福島県農業総合センター短期大学校 作物保護講義	矢吹町				○	
11月28日	令和6年度農薬管理指導士及び農薬適正使用アドバイザー研修会	会津若松市 ハイテクプラザ					安達
11月29日	麦共済部会(全相殺方式)・水稲共済部会(半相殺方式)	リモート会議			○		

年・月・日	会議・研究会等の名称	開催場所	出席者				
			尾形	佐々木	平子	草野	事務職員
2024年							
12月5・6日	令和6年度北海道東北地区植物防疫協議会全体会・分科会	仙台市	○				
12月3日	NOSAI福島 損害評価会果樹共済部会	福島市 ユニックスビル		○			
12月7日	虫供養	福島市 中野不動尊	○	○			渡部
12月9日	あつかし農友会営農研修会	国見町・くにみまち道の駅		○			
12月12日	県植防職員会議	福島市 JA福島ビル	○	○	○	○	渡部 安達
2025年							
1月14日	福島県農業総合センター短期大学校 作物保護講義	矢吹町				○	
1月15日	クビアカツヤカミキリ早期防除計画(案)に関する市町村等担当者説明会	郡山市 ユラックス熱海				○	
1月16日	日本植物防疫シンポジウム「農家にとってのIPM実践の意義を考える」	東京都			○	○	
1月17日	福島県農業適正推進会議	リモート会議	○				安達
1月22日	公益社団法人福島県植物防疫協会 賛助会員情報交換会	福島市	○	○	○	○	渡部
1月27日	令和6年度「発生子察事業」業務改善検討会	郡山市 農業総合センター	○		○	○	
2月2日	J Aふくしま未来箱崎地区果樹害虫防除研修会	伊達市箱崎		○			
2月6日	(一社)日本植物防疫協会GLP作物残留試験施設調査	福島市、郡山市	○	○	○	○	
2月14日	NOSAI福島 損害評価会果樹共済部会	福島市 ユニックスビル		○			
2月17日	令和6年度生産資材安全確保対策委託事業第2回事業推進検討会(リモート)	リモート会議		○			
2月18日	令和6年度福島県産業用無人ヘリコプター事業実績検討会	郡山市 農業総合センター				○	
2月18日	令和6年度病害虫防除員研修会公開セミナー	郡山市 農業総合センター 福島市 果樹研究所	○	○	○	○	渡部 安達
2月20～21日	第78回北日本病害虫研究発表会	青森市		○	○	○	
2月26日	霜害評価会 水稲共済部会	リモート会議			○		
3月3・4日	都道府県植防協会GLP推進会議	千葉県成田市	○	○	○	○	渡部
3月5日	果樹研究所講習生講義	果樹研		○			
3月12日	福島県農業総合センター果樹研究所研究成果発表会	福島市 JA全農福島ビル	○	○			
3月18日	令和6年度植物防疫事業実績検討会	郡山市 農業総合センター				○	
3月18日	第5回農業新施用技術検討協議会	リモート会議	○				
3月24日	令和6年度公益社団法人福島県植物防疫協会 幹事会	福島市 JA福島ビル	○	○	○	○	渡部 安達